

1970-80s, N.Y. サウスブロンクス
ヒップホップが世界を変えた



監督: トニー・シルバー プロデューサー: トニー・シルバー & ヘンリー・シャルファント

デジタル
修復版

Style Wars

スタイル・ウォーズ

THE ORIGINAL HIP HOP DOCUMENTARY

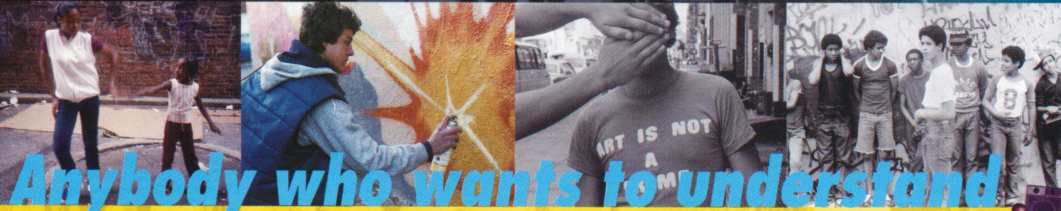
ヒップホップ黎明期を記録した伝説的ドキュメンタリー
40年の時を経て日本劇場初公開!

<https://synca.jp/stylewars>

地下鉄の壁に色鮮やかに描いたのは、ここに生きる証。 グラフィティに賭けた青春の記録

1970～1980年代のブロンクス地区は、レーガン大統領ですら視察の際に絶句したといわれるほど、がれきの山が延々と続き、貧困と犯罪が蔓延するエリアだった。しかし、そんな灰色の町から全く新しいサブカルチャー、ヒップホップが生まれる。無数のグラフィティを描く少年たちはライターと呼ばれ、彼らが「グラフィティ」を街中に描くことは自身の存在を「ボム(=爆破)」することを意味していた。インターネットなど存在しない当時、閉塞感を抱えた少年たちは、地下鉄のホームに集まっては自身のタグを競うように発明し、終電後の車庫に忍び込み、NY中を駆ける地下鉄の壁に自身の証を記した。

「グラフィティ」を「落書き」として糾弾する大人たちの批判を受けながらも、言葉にならない衝動に突き動かされる少年たち。フィルムが捉えた彼らの瑞々しい姿と新しいムーブメントが生まれようとする時代の空気は、製作から約40年経った今、観る者に新鮮な驚きをもたらしてくれる。



**Anybody who wants to understand
Hip Hop needs to see.** ——— KRS One

★★★ ヒップホップを知りたいなら「Style Wars」を見る。★★★



1981年から2021年へ ヒップホップの起源が詰まったタイムカプセル

グラフィティ、ラップ、ブレイキン…「Style Wars」は1981～83年に製作された、当時生まれたばかりの「ヒップホップ」をフィルムに捉えた貴重なドキュメンタリー。「ワイルド・スタイル」(1982)とともに、ヒップホップヘッズのバイブルとして語り継がれ、日本でもビデオやDVDがリリースされたものの長く廃盤となっていた。2015年にプロデューサーで写真家のヘンリー・シャルファントらがクラウドファンディングを行い、オリジナルネガから修復したHDリマスター版が完成。製作からおよそ40年の時を経て、ついに日本でスクリーンデビューを果たす。2021年の今、世界中

五輪の追加競技となり、バンクシーのグラフィティにオークションで高値がつくようになった。そんな現在を生きる私たちに「Style Wars」というタイムカプセルが見せてくれるのは、ヒップホップが生まれた時代の生々しい空気だ。荒れ果てた街、ダンボールのフロアでブレイキングの技を競い合うB-Boyたち。街の頭上を行き交うサブウェイアートの数々と、それらのピースについて熱く語り合うグラフィティライターたち。そんな彼らの姿にヒップホップの起源を再発見し、現在へとつながるひとつの歴史を感じられることだろう。

のミュージシャンがラップを当たり前に楽曲に取り入れ、ブレイキンは2024年パリ



<https://synca.jp/stylewars>

監督:トニー・シルバー プロデューサー:トニー・シルバー&ヘンリー・シャルファント
出演:Seen, Skeme, Dondi ほかグラフィティライター Rock Steady Crew ほか
1983年/70分/スタンダードサイズ/字幕:ハシム・バルーチャ、小石晃三 配給:シンカ

